

パイオニア株式会社

Oracle EBSをAWSクラウド(OS:AIX→Linux)へ移行し、IT基盤のモダナイゼーションを実現

お客様名
パイオニア株式会社

業種
製造業

DXCサービス
Oracleサービス（エンタープライズ・アプリケーション&SaaS）



DXCテクノロジーのOracleに関する知識と経験、さらには迅速な対応によって、ビジネスの基盤となるシステムを停止させることなく安定的に利用することができました。

パイオニア株式会社
情報戦略統括グループ
統括部長兼CIO
西岡 真樹様



チャレンジ（課題）

- 現在ホスティングしている日系企業提供のクラウド基盤が近々サービス終了になる
- 稼働中のOracle EBS（Financials）とDBのバージョンが古く（EBS: R11, DB: 9i）、市場やビジネスの変化に対して柔軟に、素早く対応できない
- EBSやDBのバージョンが古く、移行できるパートナーがない



ソリューション

- オールインワンサポートソリューションとして、迅速でコスト効率の高い包括的な移行モデルの提供
- Oracle EBS、DB、Discoverer（BIツール）をAWS環境に移行
- 移行に際しDBをバージョンアップ（9i → 11g）
- OS変更（AIX 5.3 → RHEL5, RHEL6）と、変更に伴う運用設計



ベネフィット

- IT基盤の最新性を高め、現在および将来のビジネス要件を満たすクラウドプラットフォームを確立
- AWSクラウドプラットフォームの豊富な機能の活用による、市場やビジネス変化への柔軟で素早い対応や、要件に応じて必要なクラウドサービスを柔軟に選択可能に
- AWSの標準機能の活用による運用業務改善及び、既にAWS上で稼働している他のアプリケーションと足並みを揃えた運用ガバナンスの強化